

箕曲市民センターだより

【編集・発行】
箕曲市民センター
63-0453



良きことにトライしよう

新年あけましておめでとうございます

一昨年からのコロナウイルス感染対策により制約された生活が続いています。

そんな中においてスクラップ、ビルドされる地域を見ていると、小学校卒業記念としてベニア版に「50年後の箕曲」をみんなで写したことを思い出した。(長年掲示されていたがその後倉庫の中か破棄されたのか)。青蓮寺ダム建設、国道165号の工事も始まっていました。百合が丘の開発などは想定もできず、山は緑に川の水は清く、近鉄には新型の車両が走り国道サイドには高層ビルなどを中心に書きました。道には流線型の車を走らせました。「そんな丸い車なんかいいわ」と言われましたが、後年には「天才たまごエスティマシリーズ」が大流行、道路にあふれる状況となりました。田園部はどうだったのだろう、記憶がない。緑豊かな居住地だったのか、雑草の中にシカを隠してあったのか誰か教えてほしい。これから箕曲地域の生活の拠点としてどこに向かっていくのだろうか。

小さなことからコツコツと良きことをたくさんし、楽しみや喜びの多い年、地域といたしましょう。本年もよろしく願います。

令和4年 元旦 箕曲市民センター長 生田 茂夫
職員一同



サークル紹介 (2月)

サークル名	実施日	時間	備考
健康体操いちぴち	第2・4木曜日	午前10時～	
ピンポンクラブ	毎週火曜日・木曜日	午後1時～	
夏見水墨画教室	第4水曜日	午後1時～	※会員募集中
箕曲囲碁同好会	毎週水曜日	午後1時～	開催場所：箕曲中村公民館
やさしいヨガ(夜)	毎週水曜日	午後7時半～	※会員募集中
絆卓球クラブ	毎週金曜日	午前9時～	
生け花教室	第2・4金曜日	午後1時半～	※会員募集中
健康表現体操四季の会	第2・4水曜日	午前9時半～	
箕曲カラオケサークル	第1・3水曜日	午後1時半～	
夏見ワワ-ルツ ヌト	第2木曜日 ※会員募集中	午後1時～	開催場所：夏見公民館
ギター&ウクレレ教室	第2土曜日	午後7時半～	
自彊術みのわ	毎週木曜日	午前10時～	※会員募集中
やさしい太極拳	第2・4水曜日	午前10時半～	
ももちゃん広場	8日・22日(火)	午前10時～	地域の子育てサロン
撫子クラブ	第2・3・4月曜日	午前10時～	フリーピンポン
編み物教室	28日(月)	午後1時半～	
やまなみ号(移動図書館)	25日(金)	10:25～10:40	箕曲小学校運動場

人権作文入選作

「認め合う」と

「いいこと」

〔箕曲地域在住中学生〕

十二月の人権週間に係る「人権作文」の応募において、箕曲地域在住の中学生が表彰されました。この機会に、地域の皆さんにご紹介し、私たち一人一人が人権尊重の重要性を改めて認識し、他人の人権に配慮した行動をとることが大切ではないでしょうか。だれもが生きやすい社会をめざしましょう。



『認め合うということ』

(中学一年生)

私は、アニメやゲームが好きで、いわゆる「オタク」です。そのことを今まで恥ずかしいと思ったり、隠したりすることもありませんでした。小学生の頃からそうだったので、中学校に入学してからも、特に何も思わずにそれを話していました。だから、クラスメイトも皆そのことを知っています。

入学してからは、同じような「オタク」の友達もでき、楽しく過ごしています。しかし、ある時、私は母から、「あなたが、『オタク』ってこと、皆知っている？ 気持ち悪いって言われたり、いじめられたりしていない？ 心配やわ。」と言われました。私はおどろいて、誰もそんな事を言わないし、いじめられていないと答えました。そして、母がなぜそんなことを言ったのか聞きました。母は、自分が中学生だったころのことを話してくれました。

母が中学生だったころは、「オタク」は、今より周りから理解されておらず、「オタク」という言葉自体が差別的な意味で使われていたそうです。「オタク」は少し特別な目で見られ、馬鹿にされたり、皆と違う変わり者と思われる事もあったそうです。私はその時代に生まれていなくて良かったと思いました。母も、私がそんな目に合っていないことを聞いて、安心したようでした。そして、「時代は変わったんやなあ。」と言いました。

私はそれを聞いて、「オタク」のことを調べてみました。一九七〇年代にできた呼び名で、元々は、アニメやゲーム、マンガの愛好者を指す言葉だったそうです。しかしはじめは「オタク」は蔑称(バカにしたり、見下して使う呼び名)であったと書かれていました。二〇〇〇年代に入ってからは、テレビやインターネット、SNSなどでオタク文化が広がり、多くの人に理解される様になったようです。また、海外でも日本のアニメや漫画が人気ですが、愛好者のことを「OTAKU」というそうです。今では昔の様に差別的な呼び名ではないと分かりました。

母は「時代が変わった。」と言いました。私は今も昔も「オタ

ク」の側は何も変わっていないと思います。変わったのは周りではないでしょうか。例えば「私は野球がすごく好きです。」と言って、見下されたりいじめられるようなことは今も昔も無いと思います。それは周りの人が野球とはどんなものかを知っているからです。昔は、今ほど直ぐに何でも情報を知ることができなかったと思います。ですから「オタク」と呼ばれる人たちのことを分かっている人も少なかったと思います。自分がよく知らない人や物ごとに対して、分からないから怖い、近づきたくない、という気持ちがあり、それが差別につながったのではないのでしょうか。今では、アニメやゲームを好きな人がたくさんいて、理解が進んできたので、差別などがなくなってきたのだと思います。変わったのは、時代と「周りの考え方」だと思います。

私も自分の知らないこと、初めて聞くことなどについて、少し怖いと思ったり、よく知らないうちから否定してしまったりする事があります。けれど、初めに先入観を持ったり、自分の持っている情報だけで怖がったり、拒否するのはやめようと思いました。自分の周りのことや相手のことを理解することが大切だと分かりました。

小学校で、金子みすゞさんの詩を習いました。「私と小鳥と鈴と」という詩です。「みんな違って、みんないい」詩の中に出てくる言葉です。私はこの言葉がとても好きです。私の友達には、ダンスが上手な子、アイドルに夢中な子、サッカーが好きな子、走るの速い子、色々な子がいます。好きなもの、好きなこと、得意なことは皆それぞれ違います。私はアニメやゲームが好きで、絵を描くのが得意です。周りは皆それを認めてくれています。だから私は堂々と自分のことを「オタク」だと言えるのです。誰かが自分を認めてくれるというのは、とてもうれしくて、幸せな気持ちになります。同じように、私も友達のことを認め、応援しています。ひとりひとりの好きなものや得意なことが自分と違うのは、当たり前です。それでも相手のことを理解し、認め合うことができたなら、もっと素敵な世界になると思います。